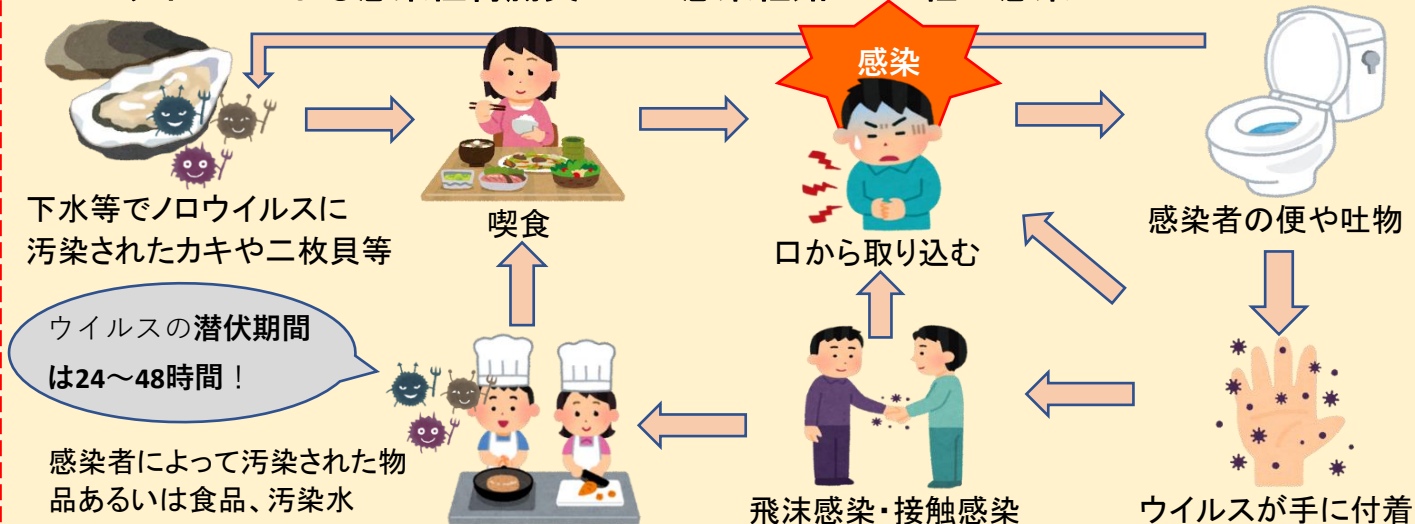


冬に特に多い！ 感染性胃腸炎にご注意を！

感染性胃腸炎の原因の多くはノロウイルスやロタウイルスによる感染です。特に集団発生例の多くは、ノロウイルスによるものと推測されています。

○ノロウイルスによる感染性胃腸炎

感染経路：主に経口感染



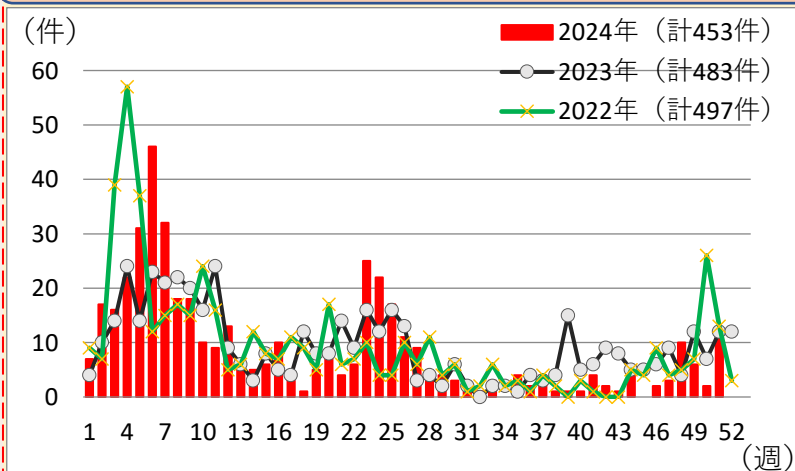
○対策のポイント

・こまめな手洗い

・二枚貝等の十分な加熱処理

・吐物やふん便の適切な処理

県南地域における感染性胃腸炎



感染性胃腸炎の警報レベルの開始基準値は20人/定点(週)です。

県南地域では、小児科定点医療機関4箇所から患者数を報告いただいています。(報告数÷定点医療機関数＝定点機関あたりの報告数)

感染性胃腸炎の患者は通年で発生があり、例年冬季がピークとなります。

2024年51週時点では、定点当たり2.75と、警報レベルに達していませんが、流行に備えた感染予防が大切です。

汚染物・場所の消毒

○次亜塩素酸ナトリウムは多くの細菌・ウイルスに有効です。(結核菌や一部の真菌では無効)

業務用の次亜塩素酸ナトリウム、または家庭用の塩素系漂白剤を水で薄めて塩素液を作ります。

希釈方法	食器、カーテンなどの消毒や拭き取り 200ppmの濃度の塩素液		おう吐物などの廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す) 1000ppmの濃度の塩素液		製品ごとに濃度が異なるので、表示を確認しましょう。
	製品の濃度	液の量	水の量	液の量	
12% (一般的な業務用)	5ml	3L	25ml	3L	
6% (一般的な家庭用)	10ml	3L	50ml	3L	
1%	60ml	3L	300ml	3L	

FAX

MAIL

発行元：福島県県南保健所生活衛生部医療薬事課

0248-23-1252

kansen_kennan@pref.fukushima.lg.jp

「県南地域感染症情報」に関する御意見、御質問等はFAX及びメールでお願いします。

県南保健福祉事務所ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21130a/>